

つくば市北条地区における竜巻被害の視察報告（その2） ～被災から100日が経った現状について～

平成24年5月6日（日）正午過ぎ、茨城県つくば市、栃木県真岡市などを竜巻が襲い甚大な被害を及ぼしました。被災直後の5月8日（火）、茨城県つくば市北条地区に赴き被災状況を視察しましたが、100日を経た8月26日（日）、復旧状況について同地区を再度視察してきましたので報告いたします。

被災直後の街は竜巻によって撒き散らされたゴミ、泥などで大変汚れておりましたが、それもなくなり綺麗な街に戻っていました。復旧は着々と進んでおり、被害の酷かった集合住宅では、工事用ブルーシートも取り除かれ、外装、内装とも終了し再入居も間近な状態です。

被災直後は無残な状態であった駐車場も整備され、日常を取り戻していました。全壊の家は取り除かれ、跡地は整地が施されておりました。中には新築の家作りが始まっているところもありましたが、大半はまだ空き地のままです。また、半壊、屋根が吹き飛んだ家はまさに復旧の最中にあり、鉄パイプを組み、屋根、外壁の修復を行っている最中でした。家の修復に併せ家財道具など家中の整理を家族総出で行っている光景も見られました。

少し残念だったのは、家が取り除かれた跡地があちこちにあるために街が虫食い状態のようになっており、話をお伺いした方は、少し寂しく活気を失ったようだと肩を落としていました。

視察してみて、街の復旧は着々と進んでいますが、人の心が元に戻るのが一番大変なことかなと感じました。災害直後は行政の人、ボランティアの人、後片付けの人など、多くの人々が通りを往来しておりましたが、今はその面影もないくらい人通りも少なくなっていました。風化させない災害支援のあり方を考えていく必要を感じました。

次ページ以降に被災直後と現在の様子を示しましたのでご覧下さい。

2012年8月26日
大園 記



【被災直後】
全戸が被害を被った集合住宅
家の中を突風が吹きぬけ、窓も家の中も
大被害を受けた。



【100日後】
工事用ブルーシートも外れ、
外装、内装とも修復が終わり
再入居間近の状態



集合住宅前の駐車場では突風で
車が飛ばされた。
また、飛んできた木材でも被害を受けた。



綺麗に修復され
使用可能な状態になっている。



【被災直後】

家が敷地外まで飛ばされている。
家の土台も剥ぎ取られ仰向けになって
おり全壊状態である。



【100日後】

何事もなかったような
今の状態、整地され更地の状態



瓦が飛ばされ屋根は半壊状態
家の中も突風が吹きぬけ大変な被害
竜巻の通り道が見てとれる。



鉄パイプを組み、屋根・外装の修復中
家の中では家族総出で整理・整頓中



【被災直後】
街の通りにあった食堂
全壊状態である。



【100日後】
取り除かれて更地になっている。



被災後、45時間
復旧作業が始まっている。



取り壊され撤去した家などが
あり街並木が変わっている。



復旧が進む家々



復旧が進む家々



復旧が進む家々



復旧が進む家々



【被災直後】
町内の中心地域に設けられた
ボランティアセンター
つくば市、支援企業、ボランティアなどの
人々が活動を始めていた。

【100日後】
何事もなかったように
今は空き地になっている。



ボランティアセンターでは
飲料水、弁当、おにぎりなどの支援及び、
つくば温泉の旅館・ホテルからは
入浴の無料サービスの案内が行われており、
多くの方が訪れていた。

ボランティアセンター前の駐車場、
今は閑散としている。